

ハローフレンド通信別冊 HellofromFukuroi Vol.40

中華圏の 端午節 (端午の節句)



「端午節」は、中華圏の端午の節句です。春節、中秋節とあわせて三大節句のひとつとされています。中華圏では、旧暦（中国の農暦）の5月5日に「端午節」をお祝いします。

「端午の節句」が「こどもの日」なのは日本独自の風習で、「端午節」は「無病息災」や「悪霊退散」などを願います。

2022年の端午節は、6月3日（金曜日）です。



「端午節」の「端」は「はじめ」、「午」は十二支を月で表したときの「5月」をあらわし、「5月の初め」という意味です。

「端午節」には「粽（ちまき）」を食べます。ちまきの味は、甘いもの、しょっぱいもの、辛いものなど、味は地域によって異なります。作り方も、茹でたり蒸したりとさまざまです。

台湾のちまきは肉やホタテ、干しエビなどが入った塩気のあるものが主流です。

また、縁起の良いとされる菖蒲やよもぎの葉を玄関に飾ったり、よもぎの葉の香りのするお守りを身に着けたりします。

運気を上げるために正午に卵を立てる人もいるそうですよ。

端午節には、中華圏の多くの場所でドラゴンボート・レースが行われます。中国を始め、台湾、香港、マカオ、マレーシア、シンガポールなどです。

ドラゴンボートには竜の頭や尾が付いていて、船体には鱗が描かれています。

また、ドラゴンボートの上には太鼓が積まれ、その音に合わせて漕ぎ手が漕ぎます。リズムカルな太鼓の音は、レースも観客も盛り上げます。

日本でも沖縄の「ハーリー（ハーレー）」などのドラゴンボート・レースが毎年行われています。

